

横 防 協 第 3 号
令 和 8 年 7 月 23 日

社会福祉施設等関係者各位

公益社団法人横浜市防火防災協会
会 長 鈴木 正光

小規模社会福祉施設関係者に対する防火安全研修会について（ご案内）

大暑の候 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から、当協会の運営にご協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、当協会では、横浜市健康福祉局、横浜市消防局及び社会福祉法人横浜市社会福祉協議会のご後援をいただき、小規模社会福祉施設の防火安全研修会を毎年実施しております。

つきましては、本年度も関係職員の方々を対象とした防火安全研修会を下記日程により開催いたしますのでご出席いただきますようご案内申し上げます。

1 日 時

実施時間は毎回午後 1 時から午後 4 時 30 分までです。

第 1 回 令和 8 年 9 月 2 日（水） 第 2 回 令和 8 年 9 月 3 日（木）

第 3 回 令和 8 年 9 月 4 日（金） 第 4 回 令和 8 年 10 月 2 日（金）

第 5 回 令和 8 年 10 月 3 日（土）

2 場 所

横浜市民防災センター 研修室

横浜市神奈川区沢渡 4-7 （電話） 0 4 5 - 3 1 2 - 0 1 1 9 ※別紙案内図のとおり

3 実施項目・内容

研修内容をより精査し、実技中心のカリキュラムとしています。

＊詳細は本通知最終ページのチラシをご覧ください。

（1）少人数宿直体制時の防火対応

自動火災報知設備が発報した際の対応を、実際に模擬装置を操作しながら習得します（火災通報装置の操作法を含む）。

（2）傷病者が発生した場合の搬送法、119 番通報及び救急隊への情報提供等について

（3）地震及び風水害の減災トレーニング及び消火器の取扱及び煙体験（市民防災センターの体験ツアーに参加します。）

4 主 催

公益社団法人横浜市防火防災協会

5 後 援

横浜市健康福祉局

横浜市消防局

社会福祉法人横浜市社会福祉協議会

6 参加者・人数

(1) 参加定員 100 人（各回定員 20 人）

(2) 参加対象者

ア 障害者施設関係者

イ 高齢者施設関係者

7 講師

当協会防災支援課職員等 計 3 人

8 参加費用

一人 3,000 円（テキスト代を含みます。）

9 研修会受講の申込み要領

(1) 申込み手順

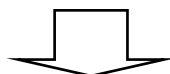
kousyuu@ydp.or.jp

このメールアドレスに、次の事項を記入し、防災事業課「河原」宛に送信してください。

- (1) 件名は「福祉施設研修会申し込み」と記入してください。
- (2) 施設の名称、住所、電話番号、メールアドレス
- (3) 受講者氏名と希望受講日（第 2 希望まで記入）
- (4) メール送付者の氏名と連絡先電話番号



決定受講日などについて「河原」からメールを返信します。



参加費用（3,000 円）を郵便局又は銀行に振り込んでいただきます。（受講日前日までに振込をお願いします。）

● 郵便局の振込先

公益社団法人横浜市防火防災協会

口座記号番号 00230-4-10357

● 銀行の振込先

横浜銀行県庁支店 普通 1128486

公益社団法人横浜市防火防災協会

(2) 参加費用振込に関する留意事項

ア 振込み手数料については、各振込者でご負担をお願いいたします。

イ 受講日当日、振込状況を確認させていただきますので、金融機関で発行された「利用明細票」(領収書)のコピーをお持ちください。

ウ 納付いただいた参加費用は返金いたしかねますので、予めご了承ください。当日、欠席された場合、横浜市防火防災協会より事業所あてテキストを送付します。

10 その他

研修会場には、駐車場がありませんので、お車での来場はご遠慮ください。

公益社団法人横浜市防火防災協会

防災事業課 担当：河原

電話：045-714-9909

■横浜市民防災センターの行き方■

横浜市民防災センターへのアクセス方法についてご紹介します。

※ 駐車場はありませんので周辺の駐車場をご利用いただくか公共交通機関をご利用ください。

- 横浜駅 <JR、相鉄、京急、市営地下鉄、東急、みなとみらい線>西口より徒歩約10分

- 徒歩ルート

横浜駅西口 ⇒ 相鉄ジョイナス地下街に入る ⇒ 地下街を直進 ⇒

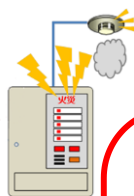
南12番出口 ⇒ 地上に出て左折 ⇒

ホテル・キャメロットジャパンを左手に見て直進 ⇒ 鶴屋町三丁目の歩道橋を渡る ⇒

沢渡中央公園内に入る ⇒ 正面に防災センター入口が見えます。



令和8年度 社会福祉施設防火安全研修会



この研修が目指すもの

1 夜間少人数勤務時の不安を解消します

・ 自火報が鳴り出しました ・ 入所者が急病で苦しんでいます
そんな時、取るべき行動を、実技中心のカリキュラムで習得します
(模擬の自動火災報知設備で操作方法を習得・傷病者の搬送要領を体験)

2 施設防災リーダーとしての役割を理解します

・ 消防訓練(避難訓練・消火訓練)を企画することができ、参加者に適切な指導が行えるノウハウを習得します



【その他こんな体験も】市民防災センターの体験ツアー(約60分)に参加し、消火器の訓練、煙体験、地震時や風水害時の減災などを学びます。

本研修内容を施設関係者の皆様と共有し火災発生に備えるとともに、消防設備等を活用した訓練や応急救護訓練にお役立てください。

開催日時・場所

(日時)

第1回 令和8年9月2日(水) 第2回 令和8年9月3日(木)
第3回 令和8年9月4日(金) 第4回 令和8年10月2日(金)
第5回 令和8年10月3日(土)

実施時間は毎回午後1時00分から午後4時30分までです。

(場所)

横浜市神奈川区沢渡4-7 横浜市民防災センター

(参加費用)

お一人 3,000円(テキスト代含みます)

後援団体

- ・ 横浜市健康福祉局
- ・ 横浜市消防局
- ・ 社会福祉法人横浜市社会福祉協議会

(お問い合わせ)

公益社団法人 横浜市防火防災協会 防災事業課
横浜市南区別所一丁目15-1 BML 横浜ビル2階 ☎045-714-9909